

◎ 支那の生死

第一支那部	第二支那部	第三支那部	第四支那部	第五支那部	第六支那部	第七支那部	第八支那部	第九支那部	第十支那部	第十一支那部	第十二支那部	第十三支那部	第十四支那部	第十五支那部	第十六支那部	第十七支那部	
住友伸銅所	工作部	自大正八年六月至大正十九年七月															
小板部		自大正八年十月至															
大板部		自大正九年二月至															
名古屋		自大正九年六月至															
管棒部		自															
管		"															
鑄造部		"															
銅管部		自															
管棒部		"															
東洋鐘伸銅會社		自大正九年八月至															
伸銅部		"															
佳反電線製造所		自大正十年二月至大正二年四月															
佳友伸銅所		自大正十一年九月至大正十二年六月															
日立電機所		自大正十一年四月至大正十二年三月															
日立電機所		自大正十一年七月至大正十二年七月															
日立電機所		自大正十一年八月至大正十二年八月															
尼古川伸銅所		自大正十一年九月至大正十二年九月															

第一十八支那
第一十九支那
第二十支那
第二十一支那
本庄支那
蒙三五支那
船舶出支那
北尾三支那

大阪電氣分銅會社
深東アルミニウム工場
日本アルミニウム工場
小向溝郷工場
六條工場及電明鑄造
高崎工場
松原八尾工場
日十九八三工場

自大正八年二月至大正九年四月
自大正十一年二月至大正十二年六月
自大正十一年九月至大正十二年六月
自大正十二年八月至大正十三年六月
自大正十二年六月至大正十三年六月
自大正十二年六月至大正十三年六月
自大正十二年八月至大正十三年六月
自大正十三年二月至大正十四年二月
自大正十四年二月至大正十五年二月
自大正十五年二月至大正十六年二月
自大正十六年二月至大正十七年二月
自大正十七年二月至大正十八年二月
自大正十八年二月至大正十九年二月

消滅支那 合計二十四個支那 現存支那十個總計二十四個

人員を統計すれば六千数百名に上るであらう

更に創立(大正八年七月)以來の入會員人員累計すれば恐らく幾十人に上るであらう。何故なれば現在會員以外の組合員を有する會社組合に於て毎月の入會申込者六十名を下りながらである。然るに實際は増加する組合員数はその十の一一内外に過ぎない。要するに入會者と同じ程度に退會者のある事を証明して居るのである。我等は宣傳して組合員増加に努力するが、一方に於て率て行く有効對する策を講ずる必要がある。又は組合員に対する教育の機会があつと思ふ。